

三溪園に新たな春の彩りを — 株式会社伊藤園様より桜の苗木をご寄贈いただきました —

このたび、株式会社伊藤園より、桜の苗木をご寄贈いただきました。
ご寄贈いただいたのはソメイヨシノ3本で、園内の大池周辺エリアに植樹しています。
春の訪れを告げる桜は、多くの来園者の皆さまに親しまれており、今回のご寄贈により、より一層華やかな景観をお楽しみいただけるようになります。



植樹式について

今回のご寄贈は、株式会社伊藤園の「お〜いお茶『わたしの街の未来の桜プロジェクト』」の一環としてご寄贈いただいたものであり、去る1月29日（木）に植樹式を開催しました。

出席者（敬称略） 株式会社伊藤園常務執行役員東京・南関東地域営業本部本部長 貴志 望
横浜市副市長 佐藤 広毅
公益財団法人三溪園保勝会理事長 海野 晋哉

三溪園では、お散歩コースとして近隣の園児を受け入れ、地域とのつながりや文化継承のきっかけづくりを行っています。当日は、近隣のルンビニ幼稚園の園児22名も植樹式に参加してくれました。



寄贈者について

株式会社伊藤園（社長：本庄大介 本社：東京都渋谷区）は、「公益財団法人 日本さくらの会」とともに、お〜いお茶『わたしの街の未来の桜プロジェクト』に取り組まれています。この度、本プロジェクトの一環として、2025 年 1 月に発売した「お〜いお茶」桜エールパッケージ製品の売上金の一部を活用し、桜を植樹いただきました。

今後は、近代三茶人の原三溪氏が創設した三溪園の美しい庭園景観を後世に遺すとともに、お茶会などを通じて文化継承も支援していただくことを目的に、三溪園に植樹いただいた桜への肥料サポート、散布等のボランティア活動を持続的に行っていただく予定です。

◆三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって創られ、1906(明治 39)年 5 月 1 日に一般公開されました。約 17.5ha（東京ドーム約 3.7 個分）に及ぶ園内には、廃仏毀釈などによる荒廃から守るため、京都や鎌倉などから移築された歴史的価値の高い建造物が巧みに配置されており、古建築と自然が調和した四季折々の景色が楽しめる日本庭園です。開園当初は「遊覧御随意」を掲げ外苑を 24 時間無料開放するなど、「美しいものはみんなで一緒に楽しむもの」という原三溪の想いが反映されています。原三溪の存命中は新進芸術家の育成と支援の場ともなり、横山大観、下村観山、前田青邨らを輩出するなど、日本美術への貢献も評価されています。戦災により大きな被害をうけ、1953(昭和 28)年に原家から横浜市に譲渡されるのを機に財団法人三溪園保勝会が設立され、現在に至ります。2007(平成 19)年には国の名勝に指定され、現在園内にある 17 棟の古建築のうち 10 棟が重要文化財、3 棟が横浜市指定有形文化財に指定されています。

施設概要

施設名	三溪園（さんけいえん）
運 営	公益財団法人三溪園保勝会
所在地	〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
連絡先	TEL 045-621-0635
公式 HP	https://www.sankeien.or.jp
Instagram	https://www.instagram.com/sankeien_garden
Twitter	https://twitter.com/HSankeien
入園料	大人 900 円／小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 700 円（本人確認書類の提示が必要）
開園時間	9：00～17：00（最終入園 16：30）
アクセス	JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車、徒歩 10 分 横浜駅東口から市営バスで 40 分「三溪園入口」下車、徒歩 5 分



本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 企画広報課 高橋

TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343

MAIL：websupport@sankeien.or.jp